

第3回 市町村国保における特定健診・保健指導に関する検討会

平成20年12月18日(木)

15:30～17:00

KKRホテル東京 平安の間(10階)

議事次第

1 開会

2 議題

- 1) 特定健診・保健指導の実施に関するワーキンググループの検討内容について
- 2) 治療中の者に対する保健指導の効果に関するワーキンググループの検討内容について
- 3) その他

【配布資料】

- ・ 議事次第
- ・ 座席表
- ・ 委員名簿
- ・ 資料1 特定健診・保健指導の実施に関するワーキンググループ報告
- ・ 資料2 治療中の者に対する保健指導の効果に関するワーキンググループ報告
- ・ 資料3 生活習慣病地域支援連携会議(仮称)について
- ・ 別紙 国保ヘルスアップ事業を踏まえた市町村国保における保健指導の事例集

特定健診・保健指導の実施に関する ワーキンググループ報告

平成20年12月18日

資料1

ワーキンググループの検討内容

第2回目以降の経過

- 第2回ワーキンググループ開催
日時: 2008年8月7日
- 平成19年度国保ヘルスアップ事業
報告書の収集、整理
(前回未収分について継続的に作業)
- 現地調査の企画、実施
(9ヶ所、ワーキング委員参加)
- 事例集の構成、骨子の検討
- 第3回ワーキンググループ開催
日時: 2008年11月25日
内容: 現地調査結果報告
事例集構成・骨子検討

今後の予定

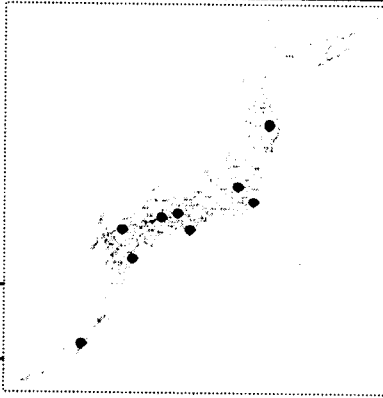
- 事例集の作成
(事例に関する情報収集)
- 次年度ワーキンググループに関する
検討

現地調査の実施

1) 目的

特徴的な取組みを実施している等の事例9件を対象に、事業内容や実施運営上のポイントについて、事業報告書には記載されていない詳細な情報を得ることを目的とする。

2) 調査の実施要領

調査対象	平成19年度ヘルスアップ事業特別加算実施75保険者(7/11時点回収分47ヶ所)から選定された9カ所(岩手県軽米町、群馬県太田市、千葉県君津市、和歌山県御坊市外三ヶ町、兵庫県尼崎市、岡山県倉敷市、福岡県北九州市、宮崎県日南市、沖縄県宜野湾市)	
調査時期	平成20年9～10月	
調査方法	ワーキング委員による訪問ヒアリング	
事例選定の視点	<ul style="list-style-type: none">・特徴的な取組みを実施 ポピュレーションアプローチとの連携、社会資源・地区組織の活用、参加継続への工夫・中断防止、生活習慣の改善とその継続・成果が良好(BMIに着目)・保険者の規模、全国各地にまんべんなく・複数の保険者が協働して実施	

現地調査の実施（参考：現地調査地の概要）

※ 下表は、人口規模の小さい順に記載。

保険者	選定理由、委員推薦理由	人口 (人)	被保険者数 (人)	H19ヘルスアップ事業(積極的支援)									
				実施者数 (人)	終了者数 (人)	参加率 (%)	ポイント	複数プログラム用意	特徴	終了率 (%)	BMI 変化率 (%) 上男、下女		
岩手県 軽米町	地域資源を活用した広報。 地域資源を活用して健康づくりへの意識を高揚。地域密着型の保健指導を展開。	11,192	6,355	22	22	-	180	○	1,4,8,10,1 2,15	100.0	-		
宮崎県 日南市	まちづくり型保健指導。 保健指導を、健康づくりによる“まちづくり”として展開していること、参加者が自主グループ等を作って活動を広げていること等に特徴がある。	43,478	10,725	10	10	70.0	500	-	2,3,4,5,8,9 .10,12,13, 14,15	100.0	-		
和歌山県 御坊市外三ヶ町	広域事務組合理型。 小規模市町が集合した広域事務組合による取組み例。	49,575	23,531	22	21	94.5	440	-	4,5,6,8,10, 12,15	95.5	-4.3% -1.9%		
千葉県 君津市	ポピュレーションアプローチ連携。 病態分析を行い各地域の自治会にて結果説明会を行い、地域ぐるみでの健康意識の高揚を図った。	90,654	36,646	56	44	59.4	310	-	4,8,14,15	78.6	-2.8% -4.2%		
沖縄県 宜野湾市	複数プログラム実施。 通信型を含めた複数プログラムを比較的小規模自治体にて直営で実施。	91,486	38,666	7~ 39	5~ 30	72.5 ~ 100.0	500 ~ 860	○	1,2,3,4,6,8 ,9,11,12,1 5	71.4~ 89.7	0.0~-9.2% -3.5~-4.6%		
群馬県 太田市	人材確保・育成。 不足が見込まれる人材を確保するために、ボランティア育成事業を実施した。	218,815	80,219	104	104	91.3	280	同プログラムで複数コース	4,12,15	100.0	-4.1% -5.1%		
兵庫県 尼崎市	ポピュレーションアプローチ連携。 検診結果等のデータを活用し事業を展開。産業団体、地域企業の協力を得る方法などに特色がある。	461,120	180,135	378	238	63.0	260	-	1,4,6,7,8,1 0,14	63.0	-2.8% -3.9%		
岡山県 倉敷市	複数プログラム実施。 複数プログラムを用意し、委託と直営で機能分担しながら事業を展開。	477,922	157,029	25~ 3	24~ 3	88.0 ~ 60.0	190 ~ 1040	○	コースに より異なる	76.9~ 100.0	-2.7~-8.9% -11.4~-1.1%		
福岡県 北九州市	医師会保健指導実施。 健診実施機関にて保健指導を実施するための体制づくりが参考になる。	990,452	374,111	37	29	78.4	180	-	4,10,12	78.4	-		

- | | | | |
|------------|--------------|-------------|---------------|
| 1 土日・夜間開催 | 2 夫婦・家族参加型 | 3 訪問による参加勧奨 | 4 分かりやすい媒体の工夫 |
| 5 地域人材の活用 | 6 地域施設の活用 | 7 地域組織との連携 | 8 欠席者のフォロー |
| 9 仲間づくりの支援 | 10 医療機関との連携 | 11 市民モニター活用 | 12 参加者満足度調査 |
| 13 職員の教育研修 | 14 治療中者の保健指導 | 15 客観的な習慣評価 | |

事例集の作成(案)

1) 目的

特定健診・特定保健指導の運営上の課題への対応方策を検討する際に参考となる資料を提供することを目的とする。

2) 作成方法

平成19年度ヘルスアップ事業実施保険者を対象としたアンケート調査の結果、および現地調査を実施した9事例の調査結果を活用して、事業内容や実施運営上のポイントをとりまとめる。

3) タイトル(仮)

「国保ヘルスアップ事業を踏まえた 市町村国保における保健指導の事例集」
～ 円滑な特定健診・特定保健指導の実施のために ～

4) 想定読者(配布予定先)

市町村国保の事業担当者および実施者、都道府県、連合会など。

5) 構成および骨子案(別紙ご参考)

本編(課題への対応例を整理)、事例編(9件の現地調査報告)、参考資料(アンケート結果概要など)の3部構成とする。

事例集の作成(案)

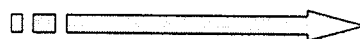
本書の構成と使い方

はじめに

1. 円滑な特定健診・特定保健指導の実施

- (1) 計画づくりと評価
- (2) 健診結果・レセプト分析の活用
- (3) 実施体制の構築
- (4) 人材の確保・育成
- (5) 事業の展開方法
- (6) 受診率、実施率、継続率の向上
- (7) アウトソーシングの展開方法とその課題

2. 事例紹介



○ 事例インデックス

- (1) 岩手県軽米町
- (2) 宮崎県日南市
- (3) 和歌山県御坊市外三ヶ町
- (4) 千葉県君津市
- (5) 沖縄県宜野湾市
- (6) 群馬県太田市
- (7) 兵庫県尼崎市
- (8) 岡山県倉敷市
- (9) 福岡県北九州市

付. 資料編

- (1) 平成19年度国保ヘルスアップ事業の全体像 (第2回検討会 アンケート結果をもとに整理)
- (2) 特別加算実施75保険者一覧

<事例ごとの内容構成>

- 1 選定のポイント
- 2 保険者の概要
- 3 平成20年度特定健診・特定保健指導について
 - (1) 実施計画の概要
 - (2) 実施体制
 - (3) 事業の特徴
 - (4) 課題と今後の展望
- 4 平成19年度ヘルスアップ事業について
 - (1) 事業概要
 - (2) 実施体制
 - (3) 特別加算で実施したこと
 - (4) 受入れ体制構築のポイント
 - (5) 受診率・実施率、継続率向上のポイント
 - (6) 事業の成果
 - (7) 平成20年度特定健診・特定保健指導に向けて

治療中の者に対する保健指導の効果に 関するワーキンググループ報告

平成20年12月18日

資料2

ワーキンググループの検討内容

第3回までの経過

○ 第3回ワーキンググループの開催

日時：平成20年12月18日

○ 保健指導教材集の作成

○ 実施担当者研修会の開催

平成20年8月25日、26、27日：

本事業の実施手順、保健指導方法に関する研修等を行った。

[参加機関]

涌谷町町民医療センター(宮城)

大森病院(秋田)、南砺市民病院(富山)、坂下病院(岐阜)、

甲賀病院(滋賀)、みつぎ総合病院(広島)、三豊総合病院(香川)

国東市民病院(大分)、山香病院(大分)

○ 倫理審査

内容：各実施機関より倫理審査委員会に実施許可申請を行い承認を得た。

○ テストラン実施

日時：平成20年9月から11月

内容：事業説明、保険者等との打合せ、

事業実施体制の確認および保健指導模擬実践

今後の予定

○ 対象者の無作為割付および保健指導の実施(継続実施中)

○ 評価方法に関する検討

○ 継続支援期間における保健指導プロトコルの検討

治療中の者に対する保健指導事業 対象者

対象者の採択要件

年齢 30歳～70歳

国保加入者

服薬治療中の疾患

高血圧・脂質異常・糖尿病

採択検査値

血圧 140/90mmHg以上

(いずれかが該当)

LDLコレステロール

140mg/dl以上

HbA1c 6.5%以上

除外要件

血圧 180/110mmHg以上

LDLコレステロール 220mg/dl以上

HbA1c 8.0%以上

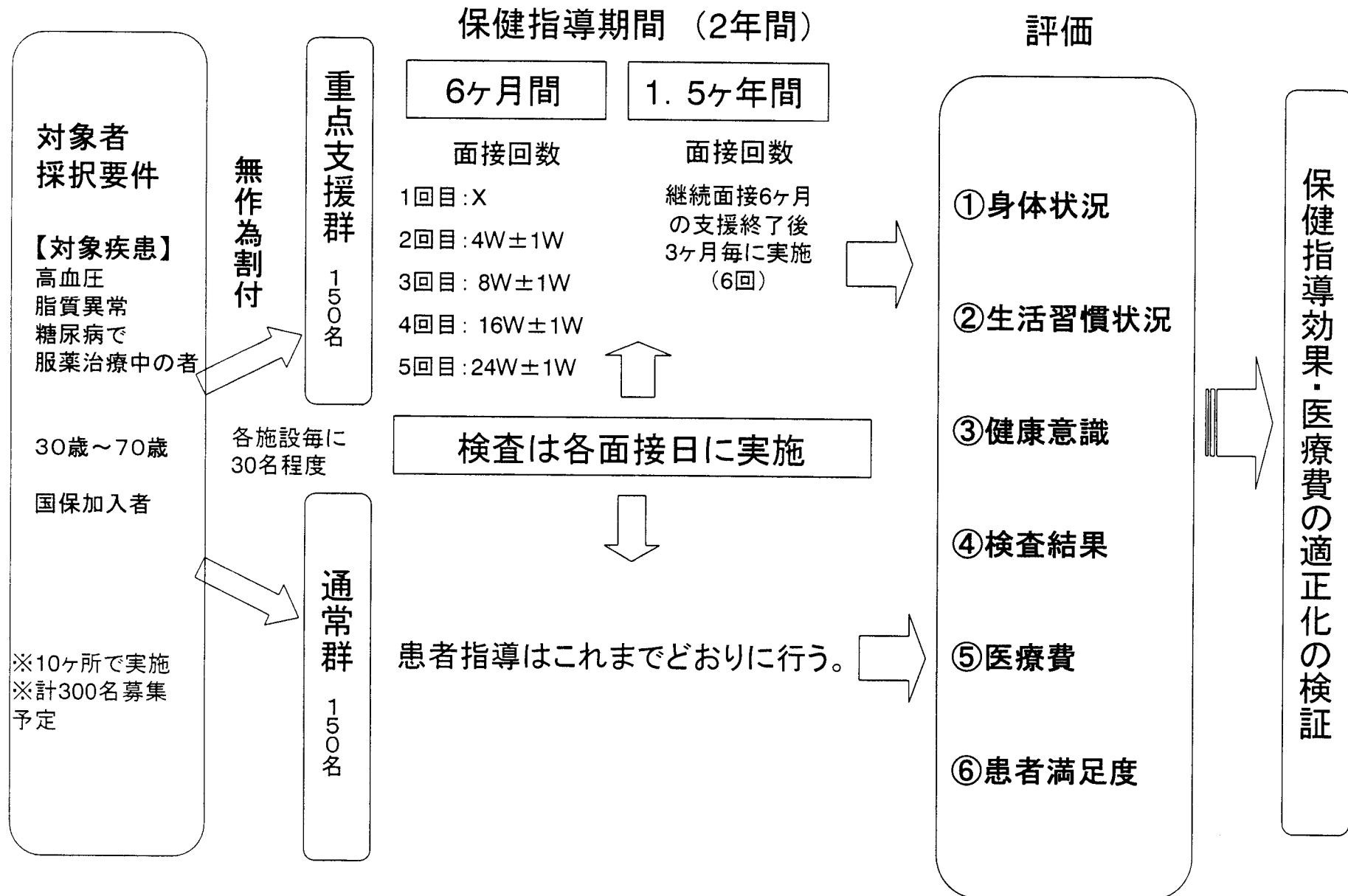
- ・インスリン療法を導入している者
- ・腰痛や膝関節痛が高度で歩行などの基本的な運動指導が困難なもの。
- ・心筋梗塞・脳卒中の既往を持つもの。
- ・合併症等で主治医が不適切と判断したもの。

打ち切り要件

患者が治療中断した場合

主治医が不適切と判断した場合

治療中の者に対する保健指導事業 概要



Ⅱ これまでの経緯

1. 事前準備（実施担当者研修会）

- 実施日時：平成20年8月25日から27日（第2回研修会を平成20年12月5日、6日に開催）
- 対象：事業実施機関における事業実施担当者、事務部門担当者 等
- 会場：砂防会館 別館4階 国民健康保険中央会研修室
- 参加者：

職種	計
医師	9
保健師	14
看護師	7
検査技師	1
管理栄養士	9
栄養士	1
事務	9
合計	50名

注：2回分の研修会参加者数の合計を表している。

日程	時間	内容
8月25日 (1日目)	午後 12:30～ 13:00～ 13:15～14:15 14:15～16:00 16:00～18:00	受付 ・開始(挨拶:趣旨説明) ・治療中の者への保健指導の意義について ・事業概要及び事業の具体的な取組 ・事業の分析評価、評価に係るデータ收受について ・意見交換及び質疑応答
	午前 9:30～12:00	・保健指導に必要な知識Ⅰ 基本的な病態 生活習慣とリスクファクターとの関連 禁煙指導のポイント 栄養の知識・運動の知識
8月26日 (2日目)	午後 13:00～14:50 15:00～17:00	・知識提供のためのロールプレイング 保健指導の基本的な技術 ・保健指導に必要な知識Ⅱ 保健指導の基本的な技術
	午前 9:30～12:00	・栄養アセスメント アセスメント方法の解説 事例検討
8月27日 (3日目)	午後 13:00～15:00 15:00	・総合討論 ・意見交換 ・閉会

2. 倫理審査

○概要

- ・事業実施に先立ち、保健指導プロトコール、院内実施体制等に関する倫理的妥当性を確認するために、倫理審査委員会に対し事業実施申請を行った。

○承認日

- ・8月29日から10月9日の間に9ヶ所の実施機関が承認を得た(1実施機関は現在準備中)

3. テストラン

○目的

- ・倫理審査委員会の承認を受けた後に、院内の実施体制、測定データの集約、送付体制等に関する確認と保健指導模擬実践を目的にテストランを実施した。

○概要

- ・事業説明
- ・倫理委員会承認書類の確認
- ・実施体制の確認・主治医による同意取得のながれ・参加者決定後から保健指導開始までのながれ
- ・診療報酬明細書情報の収集について
- ・帳票、収集データ項目の確認、事務局への提出スケジュールの確認
- ・対象者IDの設定、記録保管方法・血液検査／尿検査のながれ
- ・保健指導の模擬実践（2症例分の模擬保健指導を実施）
- ・中断時の連絡体制・事業費の精算方法
- ・質疑応答 等

○実施日時：9月22日～11月17日に実施（1実施機関は平成21年1月に予定）

4. 対象者の募集および同意の取得

○概要

- ・テストランが完了した実施機関は、対象者の募集と同意の取得を開始した。
- ・1実施機関あたり20名以上40名以内で募集を行っている。
- ・対象者の募集と同意取得は、主治医の指示のもと実施している。

○同意取得に用いた資料等

- ・保健指導事業参加のお願い 事業の内容に関するご説明
（外来患者一般に対し募集のために掲示）
 - ・治療中の者に対する保健指導事業 保健指導事業参加のお願い
（対象患者の説明資料として使用）
 - ・保健指導の効果に関する事業への参加同意書
（対象患者の同意を確認するために使用）
 - ・患者登録用紙
- ※説明を受けた患者は全てID化して登録する。後日同意取得率を確認することを目的としている。
- ・同意書および主治医の説明実施確認書は、該当箇所に署名の上、事業が終了するまで実施機関内で保管。

5. 今後の予定

		平成20年度						平成21年度						平成22年度																		
		9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
涌谷町町民医療福祉センター	重点支援			TR	保健指導開始(重点支援期間6ヶ月)																											
	継続支援													①		②		③				④			⑤			⑥				
市立大森病院	重点支援				TR	保健指導開始(重点支援期間6ヶ月)																										
	継続支援													①		②		③				④			⑤			⑥				
南砺市民病院	重点支援			TR	保健指導開始(重点支援期間6ヶ月)																											
	継続支援													①		②		③				④			⑤			⑥				
国民健康保険坂下病院	重点支援				TR	保健指導開始(重点支援期間6ヶ月)																										
	継続支援													①		②		③				④			⑤			⑥				
公立甲賀病院	重点支援			TR	保健指導開始(重点支援期間6ヶ月)																											
	継続支援													①		②		③				④			⑤			⑥				
公立みつぎ総合病院	重点支援				TR	保健指導開始(重点支援期間6ヶ月)																										
	継続支援													①		②		③				④			⑤			⑥				
三豊総合病院	重点支援				TR	保健指導開始(重点支援期間6ヶ月)																										
	継続支援													①		②		③				④			⑤			⑥				
国民健康保険平戸市民病院	重点支援			事業説明会	保健指導開始(重点支援期間6ヶ月)																											
	継続支援													①		②		③				④			⑤			⑥				
国東市民病院	重点支援				TR	保健指導開始(重点支援期間6ヶ月)																										
	継続支援													①		②		③				④			⑤			⑥				
杵築市立山香病院	重点支援				TR	保健指導開始(重点支援期間6ヶ月)																										
	継続支援													①		②		③				④			⑤			⑥				

注1: TR=テストラン実施日

注2: 重点支援期間は6ヶ月間となっている。通常支援期間(フォローアップ)は3ヶ月ごとに1回程度の保健指導等を予定している(○数字は3ヶ月単位の区切れ目を表している)

注3: 国民健康保険平戸市民病院は、事業実施担当者が集まり事業説明会を行った(テストランは1月に実施予定)

Ⅲ 事業評価に関する検討

収集データ項目

検査結果

- 体重・身長・BMI・腹囲
- 血圧(測定2回)
- 血液検査
HbA1c、1.5AG、随時血糖
中性脂肪、総コレステロール、
LDLコレステロール、
HDLコレステロール、
尿酸、血清クレアチニン
- 尿検査
尿中微量アルブミン、Na、K、
尿中クレアチニン

保健指導情報

- 身体状況の変化
- 生活習慣の変化
- 健康に関する意識
の変化

レセプト情報

- 属性(性別・生年月日)
- 保険者番号
- 医療機関名
- 疾病名
- 治療開始時期
- 区分(入院・外来・薬剤)
- 診療月日
- 決定件数、日数、点数

経済評価に用いる指標

- 人材に係る費用
- 教材等に係る費用
- その他に係る費用

診療情報

- 診察時の変更内容
(投薬中断の有無)
- 毎回の処方内容
(投薬量等)

- 患者満足度

事前に把握する情報

- これまでの治療状況・
保健指導の状況
(教育入院等)
- 現在の治療内容
(使用薬剤等)

1. 医療費に関する分析（案）

視点1: 両群間の医療費の推移(重点支援期間、継続支援期間)

・分析方法: 重点支援群, 通常支援群 × 決定点数

視点2: 特掲診療料別の医療費の推移(重点支援期間、継続支援期間)

・分析方法: 重点支援群, 通常支援群 × 再診, 指導, 投薬, 注射, 処置... × 回数、点数、件数

視点3: 投薬量の推移(重点支援期間、継続支援期間)

・分析方法: 重点支援群, 通常支援群 × 薬効コード別投薬量

視点4: 分析属性に関する検討

・考え方: 視点1から3を分析する際に、対象者属性、保健事業内容、実施体制 等を変数として設定し分析を行う。

①対象者属性: 治療中の疾患種類(糖尿病、脂質異常症、高血圧の組み合わせ)、性別、年齢、(ベースライン時の)検査値、治療期間、合併症の有無、BMI

②保健事業内容: 保健指導が実施できた回数、保健指導内容、目標達成状況

③実施体制: 実施職種

視点5: 改善群、非改善群間の医療費の推移

その他

2. 費用対効果に関する分析

○目的

- ・事業実施準備、保健指導実施、評価、資料作成、カンファレンス等に要した費用を把握し、重点支援群、通常支援群別の一人当たりコストを調査する。
- ・また、重点支援群と通常支援群間の医療費(総決定点数)、薬剤費の差を便益とみなし、上記コスト調査結果より得られる費用を差し引いた純便益を推計することを旨とする。

$$\text{NB(純便益)} = \text{B(便益)} - \text{C(費用)}$$

○方法

- ・想定される費目および調査票は以下の通り。

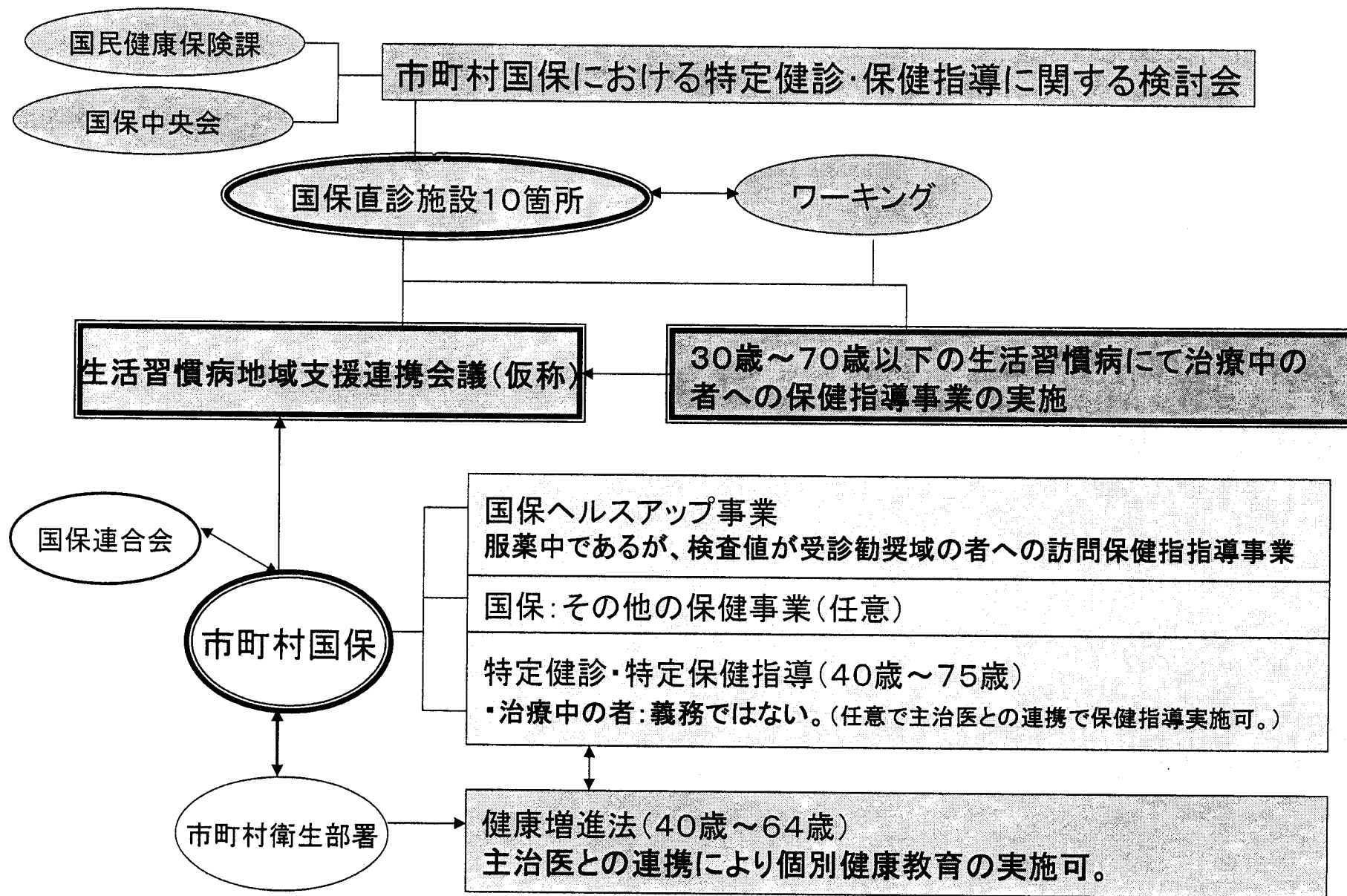
人件費

材料費(教材、材料等、器具類、検査委託費等)

その他経費(会議費、旅費、通信費等)

生活習慣病地域支援連携会議(仮称)について

～地域における医療と保健の包括的な連携支援の在り方を考える～



生活習慣病地域支援連携会議(案)

- 目的

生活習慣病にて治療中の者への保健指導支援において、事業の実施施設である国診施設と市町村国保等が、それぞれが取り組む事業について理解を深め、医療と保健事業の連携を図ることにより、「生活習慣病にて治療中の者への保健指導事業」の円滑な実施と、その在り方の検討を行うものである。

- 実施主体

実施機関

- 実施方法

各実施機関毎の関係者で10カ所の実施機関でそれぞれに開催する

- 実施時期

平成20年度に1回程度、平成21年度は年2から3回程度開催する。

- 内容

- ①実施施設及び市町村国保等が取り組む事業の意見交換
- ②事業実施における医療と市町村国保等との連携及び役割分担
- ③市町村国保が実施する特定健診・保健指導との連携
- ④地域における生活習慣病(治療中の者への)支援のあり方の意見交換

- 参加者

実施機関、国保連合会、市町村国保・衛生部門、事務局
その他実施施設の長が必要と認める団体及び機関

国保ヘルスアップ事業を踏まえた 市町村国保における保健指導の事例集 ～ 円滑な特定健診・特定保健指導の実施のために ～

本書の構成と使い方

- ・本編、事例編、参考資料の3部構成からなることを説明。
- ・本編は短く分かりやすくし、詳細は事例編に掲載していることを説明。

はじめに

- ・作成の目的など記載。

1. 円滑な特定健診・特定保健指導の実施 <本編>

- ・課題別に、現地調査結果を活用して、対応策を考える際のヒントとなりそうな取組みを紹介。
- ・課題と対応例は、以下のとおり。
(※ 以下、“・”は記載する内容の案)

(1) 計画づくりと評価

- ・Plan (計画)、Do (実施)、See・Check (評価) の重要性
- ・国保部門と衛生部門の連携形態と利点、留意点

特別加算事業における取組み例

- ・健康長寿課内に国保部門と衛生部門を配して連携している。(日南市)

(2) 健診結果・レセプト分析の活用

- ・地域の病態分析 の重要性
- ・ポピュレーションアプローチとの連携

特別加算事業における取組み例

- ・介護保険、国民健康保険、基本健診などのデータを小学校区ごとに集計し整理した「地域健康づくりデータベース」を構築し、地域単位で住民の健康状態を把握している。(北九州市)
- ・被保険者の健康実態分析を行い、地域の実情を考慮して生活習慣病対策を展開している。(尼崎市)
- ・被保険者の病態分析を行い、各地域の自治会にて結果説明会を行い、地域ぐるみの健康意識の高揚を図った。(君津市)

(3) 実施体制の構築

- ・魅力的な受け皿（保健指導プログラムと実施パターン）の用意
- ・医師会、栄養士会など専門職団体との連携
- ・地域の多様な団体、組織への働きかけ

特別加算事業における取組み例

○未受診理由の確認

- ・過去5年間健診未受診者を対象にアンケート調査を行い、未受診理由等を確認した。（宜野湾市）

○魅力的な保健指導プログラムの用意

- ・通信、出前など保健指導プログラムを複数用意し、親しみを持てるコース名をつけた。（宜野湾市、倉敷市、軽米町）
- ・セミナー、教室などは、同じ内容を2日間、あるいは午前・午後の両方で実施して、選択できるようにした。（軽米町、太田市、倉敷市）

○医師会など専門職団体との連携

- ・医師会の協力を得て、かかりつけ医による小学校区単位での保健指導実施体制を築いた。協力を得るために、事業の内容とともに、市として何を目標しているのか、資料を用いて詳細に説明した。説明に際し、事業の実施要領（マニュアル）と市民からの問合せを想定したQ&A集を作成し配布した。また、協力医療機関には特定健診ステッカーを配布した。（北九州市）

○地域の多様な団体・組織への働きかけ

- ・区長会、食生活推進委員等に事業の説明と協力依頼を行った。（御坊市）
- ・地域特産物（雑穀）をキッズメッセンジャーが家庭に配布し、生活習慣病予防の重要性をアピールした。このために、学校や保育園・幼稚園・児童館などにも協力を依頼した。秋祭りには山車まで用意して地域に広報した。（軽米町）
- ・ショッピングセンターで広報活動したり、既存のまちおこしグループや地域婦人連絡協議会、農協などへの働きかけを行った。（日南市）
- ・国保被保険者の業種構成を踏まえ、農協と漁協に協力依頼し集団健診を実施した（北九州市）
- ・司法書士会、社会保険労務士会、理美容組合、酒販組合、株式会社TMO（商店街活性化）に協力を依頼し、「頑張る尼崎市民を応援するサポーター企業」の募集と市民への紹介を行った。（尼崎市）

(4) 人材の確保・育成

- ・医師会、医療機関、専門職団体、民間事業者等との連携
- ・保健指導対象者の中から地域の核となる人材を育成

特別加算事業における取組み例

- ・運動教室を各地域で広範囲に実施するために、ボランティアを育成する事業を実施した。(太田市)
- ・プログラム終了者が、地域でリーダーとして活躍できるよう、活躍の場と機会を設けた。(日南市)
- ・医療機関における保健指導の内容と質をそろえるために、CD-ROMによる学習教材を用意して医療機関に配布した。また、医師会での研修の受講を義務付けた(北九州市)

(5) 事業の展開方法

- ・特徴的な取組みによる成果の向上

特別加算事業における取組み例

○保健指導の全員実施

- ・健診受診者全員に対して保健指導を実施した。そのために、健診受診の際に指導実施日を予約するようにした。(尼崎市)

○仲間づくり

- ・5～6人のグループワークで目標設定などを行った。いろいろな人の様子が分かること、定期的に顔を合わせることが継続に奏効した。(軽米町、日南市)
- ・グループ支援を多く取り入れたコースでは、プログラム終了後の自主グループ化につながりやすかった。(倉敷市)
- ・仲間づくりが有効と考え、運動施設にて集団運動教室を実施したり、レクチャー形式の栄養教室をワークショップ形式に変更したりした。(御坊市)

○運動実践の実施

- ・保健指導終了後も修了者が自ら運動実践を継続できるように、水中エクササイズコースを増設した。(宜野湾市)

○多様な企画事業を並行実施

- ・メタボマラソン 111 日チャレンジ、メタボ川柳の募集、健康マーチと健康体操の考案など、様々な企画を並行して実施した。(倉敷市)
- ・“2008 笑顔がいちばん 元気にちなんフェスタ”を開催した。(日南市)

○モデル地区の設定

- ・モデル地区を設定し、職員が 50 代を対象に戸別訪問して健診、保健指導への参加を促した。(宜野湾市)

(6) 受診率、実施率、継続率の向上

- ・健診と保健指導の間をあけない実施
- ・多様な取組みの重要性

特別加算事業における取組み例

○保健指導の迅速な開始

- ・基本健診終了後、対象者の抽出、参加勧奨を短期間で行い、早期に各コースを開始するようにした。また、参加者が決まったら、連絡は郵送ではなく電話または訪問によることとし、人間関係の構築に配慮した。(倉敷市)

○資料、ツールの工夫

- ・保健指導の個別通知にて“おめでとうキャンペーン”を実施した。(日南市)
- ・ヘルスアップ通信を作成し、支援レターと一緒に送付した。(御坊市)
- ・自己実践コースと個別相談コースにおいて、保健指導期間中に起こりうるつまづきを想定したアドバイスを掲載したヘルスアップブックを作成して配布した。ヘルスアップブックには、自分をほめたり、言い訳を書くコーナーも用意し、セルフマネジメントしやすいように工夫した。また、通信コースの配布資料には、各種情報提供を載せるコーナーを設けた。(宜野湾市)
- ・改善に成功した人の体験談を聴く機会を設けたり、グループワークを取り入れ仲間づくりを進めたり、行動や意識の変化を“見える化”するなどの工夫をした。(倉敷市)

○具体的な目標設定

- ・“腹囲を〇〇cm 減らす”ではなく、“ファスナーを自分で上げられるようにする”など、具体的かつ親しみを持てる目標を設定した。(御坊市)
- ・対象者自身により具体的な目標設定(例えば、腹囲3cm 減少とか体重3kg 減少ではなく、達成したら〇〇するなど生活や趣味にまで落とし込んだ目標設定)ができるように誘導した。(倉敷市)

○きめ細かなフォロー

- ・夜間コースを用意したり、家族ぐるみの参加を促したりした。(軽米町、太田市、倉敷市)
- ・教室では、名札を用意し、名前呼びかける関係を作っていた。(軽米町)
- ・実践記録票に支援スケジュールを明記しておくとともに、教室終了後にすぐ次回の予約をとるようにし、教室開催日の直前に連絡をとった。また、教室開催日の前のタイミングに栄養指導やグループ面談をあててはげましを行った。(太田市)
- ・教室終了後に電話でその後の取り組み状況の確認や次回教室の案内を行った。(倉敷市)
- ・欠席者には、在宅時をねらって、電話でフォローした。(軽米町、日南市)
- ・通信コースの場合、行動記録が送られてきたら1日以内に返事を出した。また、通信以外に来所や電話でも相談を受けられるようにした。(宜野湾市)

○継続に向けたフォロー

- ・保健指導終了後に白紙の実践記録票を1枚配布しセルフモニタリングを促した。(太田市)
- ・事業終了後も電話等で終了者のフォローを行っている。(御坊市)
- ・終了者の自主グループ化に向けて、“どうしたら委員会”を2カ月毎に開催している。(倉敷市、ほかに日南市“フォローアップ教室”、君津市“君津ヘルスアップOB会”)

(7) アウトソーシングの展開方法とその課題

・アウトソーシングの利点、留意点

- <メリット>
 - ・内部資源（人材、施設・設備など）では対応困難な取組みの実現
 - ・接客サービスの観点から利用者志向の取組みを実施
 - ・効率を意識した事業運営を実施
- <デメリット>
 - ・事業の趣旨、発注者の考えの未理解
 - ・調整に係る時間の増大
 - ・行き過ぎた価格競争によるサービスの質の低下

特別加算事業における取組み例

- ・対人コミュニケーション（参加者のひきつけ方）や見やすい教材などに学ぶことがあった。(軽米町、太田市、君津市)
- ・地域特性が指導に反映されにくい、評価測定が甘い、緊密な連携がとりにくい等の問題があった。(君津市)
- ・行政側の管理栄養士、保健師等と外部委託先との連絡調整をいかにスムーズに行うかが課題。(御坊市)
- ・実施する教室ごとに事業者をモニタリングする担当保健師を置き、質の維持を図った。(太田市)
- ・事業開始前に行政として目指す方向、考え方などをしっかりと伝えた。(軽米町)
- ・事業進捗状況について情報共有を図るよう努めた。(日南市)

2. 事例紹介 <事例編>

- ・ 1. で提示した課題に対応したインデックスをつけて現地調査結果を紹介。事例は、読み手の便宜を考え、人口規模の小さい順に並べる。

○ 事例インデックス

- (1) 岩手県軽米町
- (2) 宮崎県日南市
- (3) 和歌山県御坊市外三カ町
- (4) 千葉県君津市
- (5) 沖縄県宜野湾市
- (6) 群馬県太田市
- (7) 兵庫県尼崎市
- (8) 岡山県倉敷市
- (9) 福岡県北九州市

	被保険者数(人)	保健指導の実施形態	ポイント数	健診結果レポート分析の活用	実施体制の構築	人材の確保・育成	事業の展開方法	受診率・実施率・継続率の向上	アウトリーチングの展開方法と課題	掲載ページ
(1)岩手県軽米町	11,192	一部 民間委託	180	-	○	-	-	○	○	⇒ 12
(2)宮崎県日南市	43,478	一部関係 機関委託	500	-	○	○	○	○	○	⇒ 21
(3)和歌山県御坊市外三カ町	49,575	一部 民間委託	440	-	○	-	○	○	○	⇒ ……
(4)千葉県君津市	90,654	一部 民間委託	310	○	-	-	-	○	○	⇒ ……
(5)沖縄県宜野湾市	91,486	直営	500~800	-	○	-	○	○	-	⇒ ……
(6)群馬県太田市	218,815	一部 民間委託	280	-	○	○	○	○	○	⇒ ……
(7)兵庫県尼崎市	461,120	一部 民間委託	260	○	○	-	○	-	○	⇒ ……
(8)岡山県倉敷市	477,922	一部 民間委託	90~1040	-	○	○	○	○	-	⇒ ……
(9)福岡県北九州市	990,452	一部医療 機関委託	180	○	○	○	-	-	-	⇒ ……

付. 参考資料

(1) 平成 19 年度国保ヘルスアップ事業

- ・ 第 2 回 WG にて配布したアンケート結果をもとに、19 年度国保ヘルスアップ事業の全体像を整理。

- 1) 事業実施保険者の概要
- 2) 実施事業の概要
 - ・ 実施体制
 - ・ 実施規模
 - ・ プログラムの内容
 - ・ プログラムの成果

(2) 特別加算実施 75 保険者一覧

<事例ごとの内容構成>

- 1 選定のポイント
- 2 保険者の概要
- 3 平成 20 年度特定健診・特定保健指導について
 - (1) 実施計画の概要
 - (2) 実施体制
 - (3) 事業の特徴 ⇒ ここで取り上げる特徴が、平成 19 年度ヘルスアップ事業における取組みを発展させたものであることを示す。
 - (4) 課題と今後の展望
- 4 平成 19 年度ヘルスアップ事業について
 - (1) 事業概要
 - (2) 実施体制
 - (3) 特別加算で実施したこと
 - (4) 受入れ体制構築のポイント
 - (5) 受診率・実施率、継続率向上のポイント
 - (6) 事業の成果
 - (7) 平成 20 年度特定健診・特定保健指導に向けて